

平成27年度月星会定時総会 平成27年6月5日(金)

於：ホテルグリーンタワー幕張

INDEX

総会報告	1~2
臼井先生連載	2
各委員長抱負/本音トーク	3
例会委員会報告	4
スケジュール/編集後記	4

気持ち新たに、尾形体制スタート！



平成27年度定時総会は、6月5日(金)ホテルグリーンタワー幕張3Fチェルシーを会場として開催されました。

今年度は平日の金曜日開催であったこと、さらには会員関係者のお通夜が重なったこともあり、参加者の集まり具合が心配される面がありましたが、役員の皆様の声かけによって定時総会・懇親会を併せて過半数超の55名の参加をいただきました。

通常より30分遅い午後6時30分より定時総会が開会され、すべての議案が可決承認されました。これにより、尾形文貴新会長の下で、新しい執行部体制による新年度の活動がスタートすることになります。

例年は、定時総会終了後に特別講演を行なっていますが、開会時間の繰り下げにより記念写真撮影に移りました。臼井先生もお通夜会場より駆けつけ、全員で記念写真に納まりました。



委員長全員が新任、若返りに期待

第2部懇親会は20Fスカイバンケットルームへ会場を移し7時20分過ぎに開会となりました。

高柳会長の挨拶、新役員の新役員任命式へと進みました。尾形新会長には臼井先生より認証状が、林威樹副会長以下各役員・委員長には尾形新会長から任命証が渡されました。

尾形新会長は「役員も例年より若干若返り委員長も全員新任なので期待してください」との挨拶でした。

臼井先生の挨拶では高柳前会長へ慰労の言葉が、尾形新会長へは新役員と新年度に期待の言葉がありました。産方相談役の乾杯の後、今年度春の叙勲で「旭日双光章」を受章された山本康昭相談役に尾形会長よりお祝い金が送られました。

懇親会は日頃、会行事になかなか参加できない会員を囲んで話が盛り上がるなど、和やかな懇談が続き、午後9時過ぎにお開きとなりました。
(事務局 川名利夫)



新会長あいさつ 平成27年度月星会会長 尾形文貴

よく遊び、よく学び、そして社会の役に立つ

今期月星会の会長に就任いたしました尾形でございます。

1年間という短いようで長い任期ですが、会員各位に助けをいただきながら活動してまいりたいと思います。

今期は、各委員長さんも若返り、気持ちも新たに頑張ってくれたいと思います。

さて今年度のテーマですが、「よく遊び、よく学び、そして社会の役に立つ」です。

これは今までの先輩達がなさってこられたことを踏襲させていただきます。月星会の活動を通して、楽しく遊ぶときは遊び、しっかり勉強をするときは学ぶ姿勢を持ち、お互いが

成長して、人として社会のお役に立ちたいものです。

時代はどんどん変わります。流れに追いつくためにもアンテナ高く、時代の流れに合った会活動をしてまいりたいと思っています。

そこで、次のことに努力してまいります。

- ・会員のための委員会活動を充実させます。
- ・会員増強及び退会防止に努めます。
- ・会のブランド名をあげるために広報活動に努めます。

以上をキーワードに1年間頑張ってもらいますので宜しくご指導、ご協力をお願いいたします。

連載

うすい日出男の 〈こくせいふかん〉の目

「敗戦国」から「普通の国」へ

本年は終戦70年の区切りの年に当たる。日本はこの70年間、「敗戦国」として過ごしてきた。占領軍の日本統治の基本として、軍備は憲法で持たされなかった。一方、軍備にカネを掛ける必要がなかったために、経済再建に力を注ぐことが出来て驚異的な経済復興を成すことができたし、その豊かな経済力で国際的にも多くの貢献をすることができた。

自国を守る戦力も、あくまでも「自衛のための戦力であって、軍隊ではない」という現実とかけ離れた論理にも納得しているのが、日本人の平均的な感覚である。

軍備を持たなくても、強力なアメリカがしっかりと守ってくれている。安心して自分のやりたいことが出来る。こんな結構なことはない——と。「敗戦国というメリット」を十分に生かしてなんの不思議も感じないのは、おかしい!ということ、我々日本人は、自覚しなければいけない。

それは「敗戦国から普通の国になる」ということであ

る。

何故そうする必要あるのかの理由は簡単である。日本を取り囲む安全保障環境が、いま大きく変わろうとしているのだ。したがって“世界の警察官”アメリカにいままでのように頼って過ごすことが出来なくなった。

その原因は中国の露骨な海洋進出がある。南沙諸島、西沙諸島への露骨な基地建設にアメリカもただ口でクレームをつけるに過ぎない現状だ。

尖閣列島は日本が占有しているから大丈夫などと、安閑としていると、中国は多数の艦艇や漁船を尖閣列島周辺に練り出し、事実上の占有を狙ってくる。そんなことを許してはならない。

もうそろそろ日本は、アメリカ頼りでなく、自らの力で自分の国を守る決意を持たねばならない。今国会で政府自民党が提出している安全保障法制は、日本を「普通の国」にしようとする努力にほかならないことを国民には理解してもらいたい。



元衆議院議員 白井日出男

新委員長、抱負を語る



工夫を凝らして有意義な例会に

例会委員長 永田 洋子

このたび、例会委員長を拝命いたしました永田洋子です。

夕食例会で有意義な時間を過ごしていた

だけよう、例会委員のメンバーと共に知恵と工夫を凝らしていきたいと思っております。

先輩会員の皆様のご教示を仰ぎながら1年間、精いっぱい務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



ご指導を仰ぎつつ楽しみづくりを

親睦委員長 木内 一晴

本年度、親睦委員長を務めさせていただきます、木内一晴です。正直、今まで行事に参加できていなかったため、親睦委員会の活動内容がわかっておりません。そういう状況で親睦委員長が務まるのか、私自身、不安で不安で

夜も眠れません。

池田さん・長谷川さん・伊藤さんという経験豊富で優秀な副委員長を3人も付けていただき感謝です。竹口アドバイザー、ご指導よろしくお願いいたします。

委員の皆さん、力を貸してください。月星会会員の皆さんが楽しんでいただけるようがんばりますので、1年間よろしくお願いいたします。



自分の知りたいことを研修企画に

研修委員長 桐谷 美千子

今年度研修委員会のお役を頂きました桐谷美千子と申します。会員歴は15年超、でもずっと不良会員だった私を尾形会長が引っ張

り出し、自分の知りたいことを研修企画してみたらどうかと。この委員会は、時に経営研修委員会と呼ばれています。いつでもどこでも自社の為に勉強したい、そんなお声を頂いて一所懸命やってみます。どうぞ宜しくご協力の程お願い申し上げます。



わかりやすく活動を伝えたい

広報委員長 森本 哲郎

この度、思いがけず広報委員長の任をいただきました。

徳永に代わり会員にさせていただいた直後

のことで戸惑いもありましたが、月星会の楽しい活動を、内外の皆さまによりわかりやすくお伝えできるよう、1年間全力で務めてまいります。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

会員さんの日常本音トークあれこれ

臼井正一さんの〈千葉県議会よもやま話〉

千葉県議会には、実に様々な集まりがあります。県所管の様々な問題を研究する集まり、いわば勉強会の色合いの濃い議員連盟。

そして、超党派で組織され、一般で言うサークルのような集まりの議員厚生会。

サッカー部、野球部、柔・剣道部、釣り部etc…実にたくさん議員厚生会があります。

これら議員厚生会ですが、はたから見ればただの趣味の集まりに思われがちですが、さにあらず。95名という大所帯の千葉県議会にあって、自民党内56名の融和を図る

ことは決して簡単ではないのです。いわんや、他党をや。

不肖・臼井正一、県議四期、現在、議会運営委員会副委員長。委員長に代わり、他党とのちょっとした調整ごなどもあります。

そんなときに、議員厚生会の打ち上げなどで交わした盃が役に立つときもあるのです。

はたから見れば大事に見えない、ちょっとしたことも実に大事。これぞ一期一会かな、と思ったりする今日この頃です。



例会委員会報告

5月例会 平成27年5月28日

於：鯨割烹みどり

平成26年度最後の最後となる5月の例会は、例会副委員長として活躍してくれた永田洋子さん自身に卓話をお願いしました。今年度の例会は、活躍中の女性経営者を卓話にお招きするプランのもとで行ってききましたが、毎月実現できたのは、ほかでもない永田さんの尽力によるものです。



ということもあり、最終回は女性経営者としての永田さん自身にご登場願った次第です。

永田さんは、長野から千葉に出てきて8年、知り合いもいないなか、大学で学んだマーケティングを武器に女性に焦点を当てたビジネスを立ち上げ、企業からの依頼で女性向き商品の開発や購買意識の調査、アンケートなど女性目線の意見などを集約して企業にフィードバックしています。

また、女性起業家への開業支援、独立を考えている女性へのアドバイスやコンサルティング業務を通じて女性同士の輪を広げていき、この輪からサークルやシヨップを立ち上げビジネスに結びつけています。

さらに、他人が運営していた介護用品の通販サイトを引き継ぎ、パートの女性が一人で出来るように立ち上げ、将来的には自宅で運営できるまでにしよう頑張っています。

卓話では、こうしたご自身の体験をベースにした女性ならではの話を披露してくれました。

なお、5月の例会参加者は31名でした。

(26年度例会委員長 尾形文貴)



5月のお誕生日の方々

6月例会 平成27年6月25日

於：鯨割烹みどり

6月の夕食例会は、毎年恒例の臼井日出男先生の卓話です。「いま、日本国民が決断すべきこと」というテーマで、存分に語っていただきました。



「58対0」というドイツと日本の憲法改正の回数比較から、日本国憲法前文における理想論と、現実の安全保障環境が合っていない現状を直視し、憲法改正に向けて決断をしなければならぬというお話でした。

特に中国の海洋進出に対してしっかりと中国側の狙いを見極めて対処していくべきこと、また国のために戦う意思が世界的に見ても日本は低いという指摘には、ひとりひとりの国民が高い意識で危機感を共有していかなければならないと強く感じた卓話でした。



なお、6月例会の参加者はビジター2名を含めて38名でした。(門山宏哲例会委員代理、門山事務所・石原裕久)

8月～10月のスケジュール

8/5(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
8/27(木)	夕食例会	18:30開会 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円	鯨割烹みどり
9/2(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
9/12(土) 9/13(日)	研修親睦旅行 (1泊2日)	●行先・詳細は8月ご案内致します	
9/24(木)	夕食例会	18:30開会 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円	鯨割烹みどり
10/7(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
10/17(土)	第1回経営研修会 「町はなぜ変化していったのか ～ 銚子と波崎を考える～」		
10/22(木)	夕食例会	18:30開会 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円	鯨割烹みどり

編集後記

就任最初の発行にどうにかこぎつけることができそうで、ほっとしているところです。諸先輩がたにアドバイスをいただけたこと、またご多忙の中、原稿執筆依頼に快く応じてくださった皆さまのお陰と感謝しております。段取りがおぼつかず、ご迷惑をおかけした方にはこの場を借りてお詫び申し上げます。次号は100号記念として、既に企画が進んでおります。ぜひ、お楽しみに。

(森本)